

計画2 教科書を活用しながら独自の題材で授業を行う例

年間指導計画は、生徒の実態や住んでいる地域の実情に合わせて考えるとよい。

以下に、光村図書「美術」教科書を活用しながら、独自の題材を展開した例を示した。

●第2学年

第1学年では身の回りの風景を描いたり、自分の箸をデザインしたりするなど、生徒の日常生活から発想させる題材を設定した。第2学年ではその学習を踏まえて、社会に目を向けさせたり、将来について考えさせたりする題材を多く設定した。また、鑑賞では、諸外国の美術や文化にも着目できる題材になるよう配慮した。

第2学年 年間35時間	
3学期制の場合	1学期：12時間／2学期：14時間／3学期：9時間
2学期制の場合	前期：18時間／後期：17時間

学期	時数	分野・領域	題材名	学習活動	使用する教科書題材	ページ	
前期 (18時間)	1学期 (12時間)	1	オリエンテーション	美術の世界の広がり	○教科書巻頭と巻末の「うつくしい!」を読み、教科書に掲載されている作品を見たり、1年での学習を振り返ったりして、社会への広がりの中で、美術でどんなことができるのか考える。	うつくしい!	2~4 104~105
		2	絵や彫刻など [描く活動]	この窓をのぞいてごらん	○自分がのぞいた小さな窓からどんな世界を想像するのか、またその世界をのぞいた人にどんなことを感じてほしいかを考え、円形状の紙に表現する。	空想の世界へようこそ	16~17
		5	デザインや工芸など [描く活動]	メッセージを持ち歩こう	○世の中で使われているマークを参考に、視覚伝達デザインの役割について話し合う。 ○環境問題について調べ、自分が伝えたいメッセージなどをもとにマークを考える。 ○トートバッグに刷って実際に持ち歩くことを考え、マークの大きさや配色を決める。 ○シルクスクリーンでトートバッグにマークを刷る。	メッセージを伝える	56~59
	1	1	絵や彫刻など [鑑賞]	海を越えて	○北斎の「神奈川冲浪裏」とゴッホの「星月夜」を鑑賞し、構図や描き方の共通点や違いを考える。 ○日本の美術が西洋の美術に与えた影響を、教科書などを参考に調べ、発表し合う。	北斎からゴッホへ 海を越えた文化交流	24~31 90~93
		3	絵や彫刻など [描く活動]	掛け軸で未来図を描こう	○掛け軸の構図や表現の工夫について学ぶ。余白の部分に注目し、その意味や効果について考える。 ○墨一色で掛け軸にあらわすことを踏まえ、自分の将来への希望などをもとに主題を生み出す。 ○主題をもとに、縦長の画面に構図を工夫して描く。	墨で描く楽しさ	22~23
		6	絵や彫刻など [つくる活動]	一步を踏み出す靴	○さまざまな靴を鑑賞し、人と靴との関わりについて考える。 ○自分の次の一步がどのようなものであるか考え、主題を生み出す。 ○主題をあらわすために、靴の形や色について構想を練る。 ○紙の特性を生かしながら、実際に履ける大きさの靴をつくる。	今の自分、 これからの自分 (参考) 紙でつくる	44~47 1年 68~69

学期	時数	分野・領域	題材名	学習活動	使用する教科書題材	ページ	
後期 (17時間)	2 学期 (14時間)	3	絵や彫刻など [描く活動]	動きを感じる 4コマ漫画	○日本の漫画の由来を学び、漫画のさまざまな表現方法について鑑賞する。	絵巻物と漫画の表現	36～39
					○ストーリー展開を考えながら4コマでの表現の構想を練る。	躍動感を捉える	40～41
	5	デザインや 工芸など [つくる活動]	光を美しく 透かす ランプ シェード	○あかりやランプシェードの役割を考える。	あかりがつくる空間	66～67	
				○光を和らげる、照明をホコリから守る、光の方向づけをするなど、ランプシェードの役割に気づき、設置場所による照明の違いを考える。			
	7	デザインや 工芸など [つくる活動]	ランプ シェード	○設置場所や用途を考えて、ランプシェードのデザインの構想を練る。	あかりがつくる空間	66～67	
				○ファイバークラフト紙の特性について学び、いろいろな加工を試す。			
3 学期 (9時間)	2	絵や彫刻など [鑑賞]	平和への思い	○ピカソの「ゲルニカ」を、全体の色彩や描かれているものに注目して鑑賞し、話し合う。	ゲルニカ, 明日への願い	48～55	
				○ピカソの生き方や、「ゲルニカ」の制作背景を調べ、どのような思いで作者がこの作品を描いたのか発表し合う。			
7	絵や彫刻など [つくる活動]	思いの形	○思いなど目に見えないものを抽象的に表現した作品を鑑賞する。	形と色の挑戦	32～33		
			○最初から形を決めてつくるのではなく、材料の粘土に触れながら、自分のあらわしたい思いをどう形にするか考える。				
7	絵や彫刻など [つくる活動]	思いの形	○あらわした思いは伏せて作品を展示し、どんな思いを表現した作品なのか話し合う。最後に作者が作品に込めた思いを発表する。	形と色の挑戦	32～33		